

2023年4月1日から
2024年3月31日まで

2023年度
事業計画・収支予算書



公益財団法人 ベネッセこども基金

2023 年度 事業計画書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

2022 年度は、中期計画の 2 年目の年。民間財団としての中間支援的な立ち位置であるベネッセこども基金の強みが活きるように、助成事業では団体サポートを最適化し、新しい柱となる自主事業を育てる年。また、活動内容の発信による広報の強化は引き続き行う、と計画していた。

助成団体サポートや広報はよい形になってきており、2023 年度も手法は踏襲する。自主事業では重い病気の理解者、支援者を増やす活動で実践が積み上がってきた。2023 年度は連携校を増やし、支援者の育成と成果の積み上げを目指す。

また、ベネッセこども基金の TOC (セオリーオブチェンジ) を作成し、次フェーズ助成事業プランを検討。選考委員との議論の結果、次年度での改訂は見送り、地域の子ども支援の実態調査や、子どもの権利推進モデルの研究をした上で、よりベネッセこども基金の強みが活かせる助成の在り方を検討することとした。

I : 2023 年度の重点テーマ

1. 【助成事業】次フェーズの助成事業につなげる地域の子ども支援資源調査

- ①助成プログラム見直しにつなげる子ども支援の資源調査
- ②「子どもの権利」推進モデルの研究・視察

2. 【自主事業】重い病気や障がいを抱える子どもの学び・交流モデルづくり

- ①モデル校とのアバターロボットを活用した学びモデル
- ②全国の病弱児支援における医教連携相談ネットワーク

3. 【自主事業】学校現場でのダイバーシティ & インクルージョン教育の推進

- ①【小中】公教育における D&I 教育の推進
- ②【中高】マイノリティ性を抱える子どもの当事者研究と社会モデルの推進

Ⅱ：重点テーマの概要

1. 【助成事業】次フェーズの助成事業につなげる地域の子ども支援資源調査

- ① 助成プログラム見直しにつなげる子ども支援の資源調査は、子ども支援の現状を把握し、地域ごとの資源の充足/未充足を可視化することを目指す。
- ② 「子どもの権利」推進モデルの研究・視察は、子どもが権利主体となり活動している先進的地域を視察し、その実態や仕組みを研究する。
- ① と②のギャップを課題と捉え、次フェーズの助成事業の設計に反映する。

なお、「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠 2,000 万円）の採択は変更なし。ただし①の調査を受けて、応募要項は微修正する。

「重い病気を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）の採択は変更なし。

「被災した子どもの学びや育ちの支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）も変更なし。

※2019 年度より、緊急支援に特化した災害支援助成を継続実施。年度開始時に通年での募集要項を財団サイトに公開。災害発生時に助成の実行を判断し、要項に沿って公募する。

2. 【自主事業】重い病気や障がいを抱える子どもの学び・交流モデルづくり

- ① モデル校とのアバターロボットを活用した学びモデル
(主な協働先：一般財団法人ニューメディア開発協会)

2022 年度は特別支援学校 16 校と連携し、30 事例を創出。アバターロボットを活用することで、病気による容姿の変化などを気にすることなく、自由に学習や交流できることがわかった。2023 年度は連携校を 30 校まで拡大し、この学びモデルの担い手となる教員を増やし、90 事例創出を目指す。またメタバース上での作品展示会を開催し、新たな相互交流モデルを創出する。積み上げた成果を発信することで、この学びモデルの汎用性を高める。

- ② 全国の病弱児支援における医教連携相談ネットワーク
(主な協働先：認定 NPO 法人ポケットサポート)

病弱児の支援者が、学びの課題を解決するための相談先がないため、地域ごとに相談窓口を設置する。初年度は全国の小児慢性特定疾病の担当窓口にてニーズ調査を行う。

3. 【自主事業】学校現場でのダイバーシティ&インクルージョン教育の推進

- ① 【小中】公教育における D&I 教育の推進
(主な協働先：一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ)

2022 年度にインクルーシブ教育の専門家と開催した 5 自治体の教職員とのワークショップを経て、2023 年度はモデル自治体にてダイアログ・イン・ザ・ダークを教員研修として開催する。体験後は教員同士が対話する場を設け、公教育の障がい理解教育の質向上や、D&I 教育推進につなげる。

- ② 【中高】マイノリティ性を抱える子どもの当事者研究と社会モデル推進
(主な協働先：株式会社リバナス)

誰もが持つマイノリティ性に着目し、自分の課題を社会的に解決する方法について探索するプログラムを作り、中高生の当事者研究を支援する。障がいの社会モデルの理解拡大と、多様性尊重の土壌づくりにつなげる。

Ⅲ：その他のテーマ

重点テーマ以外の実行項目について、概要をまとめる。

【安心安全】

- ・ 下記コンテンツをより広く効率的に普及するためのツールのトライアル
「防犯」「スマホ」冊子
「防災」紙芝居

【経済】

- ・ 学びの質向上：昨年度より普及を開始した「言葉のカブック」の検証、成果発信（主な協業先：認定 NPO 法人キッズドア）

【よりよい社会づくりにつながる学び支援】

広くすべての子どもたちを対象に「“ソーシャルリーダーシップ”を育む学び」の機会を提供。重点テーマ2に加えて、下記継続テーマ1を実行する。

- ・高校生英語ディベート大会・国際事業の共同実施

対象：高校生

協業先：全国高校生英語ディベート連盟（HEnDA）・国際委員会

【広報・渉外】

- ・子どもの社会課題や解決に向けた取り組みを発信する MeetUp を開催
- ・関係団体の支援につながる企業連携の継続実施

IV. 会議体スケジュール（予定）

	日時	主な議案
第1回理事会	5月23日(火) 10:00~12:00	・2022年度事業報告・決算 ・評議員会の開催
第1回評議員会	6月21日(水) 10:00~10:30	・2022年度事業報告・決算 ・理事選任
第2回理事会	6月21日(水) 10:30~12:00	・「重い病気」助成募集要項 ・代表理事選定 ・代表理事活動報告
第3回理事会	11月7日(火) 10:00~12:00	・「重い病気」助成団体承認 ・「経済」助成募集要項 ・代表理事活動報告
第4回理事会	3月5日(火) 10:00~12:00	・2023年度事業計画/予算 ・「経済」助成団体承認 ・代表理事活動報告

VI. 予算

2023年度 公益財団法人ベネッセこども基金					
収支予算計算書(正味財産増減計算書ベース)					
2023年4月1日から2024年3月31日まで					
(単位:千円)					
科 目	公益事業会計 子どもの学び 支援事業	法人会計	合計	2022年度 補正予算	差異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取寄付金	148,455	20,000	168,455	165,082	3,373
受取寄付金	5,639	0	5,639	5,639	0
受取寄付金振替額	142,816	20,000	162,816	159,443	3,373
雑収益	2	0	2	242	▲240
受取利息	2	0	2	2	0
雑収益	0	0	0	240	▲240
経常収益計	148,457	20,000	168,457	165,324	3,133
(2) 経常費用					
事業費	148,457	0	148,457	145,324	3,133
原稿料	1,991	0	1,991	960	1,031
監修費	55	0	55	60	▲5
法定福利費	4,200	0	4,200	4,400	▲200
給料手当	24,000	0	24,000	24,490	▲490
旅費交通費	8,665	0	8,665	3,520	5,145
通信運搬費	1,412	0	1,412	2,370	▲958
減価償却費	24	0	24	24	0
消耗品費	210	0	210	190	20
印刷製本費	1,100	0	1,100	7,570	▲6,470
諸謝金	1,270	0	1,270	320	950
支払負担金	12,214	0	12,214	14,130	▲1,916
支払助成金	72,050	0	72,050	70,730	1,320
研修費	1,400	0	1,400	0	1,400
委託費	9,828	0	9,828	9,350	478
普及宣伝費	1,760	0	1,760	3,040	▲1,280
渉外費	428	0	428	440	▲12
制作費	3,040	0	3,040	180	2,860
報酬	3,330	0	3,330	2,530	800
会議費	1,370	0	1,370	860	510
新聞図書費	70	0	70	100	▲30
雑費	40	0	40	60	▲20
管理費	0	22,030	22,030	20,910	1,120
報酬	0	800	800	800	0
給料手当	0	6,000	6,000	5,860	140
会議費	0	180	180	180	0
旅費交通費	0	80	80	80	0
通信運搬費	0	200	200	210	▲10
消耗品費	0	500	500	500	0
新聞図書費	0	120	120	150	▲30
印刷製本費	0	600	600	570	30
光熱水料費	0	300	300	290	10
賃借料	0	1,880	1,880	1,880	0
保険料	0	10	10	0	10
租税公課	0	10	10	10	0
支払負担金	0	200	200	350	▲150
雑費	0	300	300	250	50
法定福利費	0	1,050	1,050	1,010	40
普及宣伝費	0	200	200	110	90
渉外費	0	120	120	70	50
支払手数料	0	480	480	420	60
委託費	0	7,200	7,200	5,970	1,230
制作費	0	1,300	1,300	1,740	▲440
原稿料	0	500	500	460	40
経常費用計	148,457	22,030	170,487	166,234	4,253
当期経常増減額	0	▲2,030	▲2,030	▲910	▲1,120
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	▲2,030	▲2,030	▲910	▲1,120
当期一般正味財産増減額	0	▲2,030	▲2,030	▲910	▲1,120
一般正味財産期首残高	6,661	42,891	49,552	50,462	▲910
一般正味財産期末残高	6,661	40,861	47,522	49,552	▲2,030
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	141,996	20,000	161,996	161,996	0
受取寄付金	141,996	20,000	161,996	161,996	0
一般正味財産への振替額	▲142,816	▲20,000	▲162,816	▲159,443	▲3,373
一般正味財産への振替額	▲142,816	▲20,000	▲162,816	▲159,443	▲3,373
当期指定正味財産増減額	▲820	0	▲820	2,553	▲3,373
指定正味財産期首残高	338,857	0	338,857	336,304	2,553
指定正味財産期末残高	338,037	0	338,037	338,857	▲820
III 正味財産期末残高	344,698	40,861	385,559	388,409	▲2,850

Ⅶ. 資金調達及び設備投資の見込みについて

(事業年度 2023年4月1日から2024年3月31日)

1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はなし。

2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はなし。